

研究課題 (テーマ)	課題発見・問題解決能力を育成する「デザイン思考」関連講義の実施体制構築と強化		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	データサイエンス学科	学科長	高木昇
研究結果の概要			
<p>実践支援要員 (TA), および講義遂行能力を身につけた各学科教員の定着を目指した研修を実施した。とくに 2026 年度以降に講義を担当予定の教員には, 模擬講義の計画・実行内容に対して研修担当講師からのレビューを受けてもらった。研修において, 実践型ワークなどにも取り組みデザイン思考の関連知識およびグループワークの支援業務に関する理解を深め運営支援業務を習得したほか, 次に項目に示す知識, 能力を身につけた。</p> <p>[1] 2025 年度デザイン思考, および研修を通じた運営管理・遂行支援能力</p> <p>[2] デザイン思考ファシリテータ研修受講による実践支援に必要な知識, 能力</p> <p>[3] PBL 型授業である実践デザイン思考での実施体制の構築</p>			
今後の展開			
<p>研修を受講した教員および TA 候補者は, 2026 年度以降の「デザイン思考」において遂行/支援業務に従事する。おもに情報端末等を利用したサブ教材, 成果物の共有を担当してもらい, 資料の改良, テーマ策定にも参画する。このほか 2026 年度スタートの実践デザイン思考での遂行支援を見据えたプログラムを計画する。</p>			